

2016 年

【英文原著】

Saito Y, Kobayashi M, Yamada T, Kasashi K, Honma R, Takeuchi S, Shimizu Y, Kinoshita I, Dosaka-Akita H, Iseki K. Premedication with intravenous magnesium has a protective effect against cisplatin-induced nephrotoxicity.

Support. Care Cancer Feb;25(2):481-487. doi: 10.1007/s00520-016-3426-5, 2017.

Narumi K, Kobayashi M, Kondo A, Furugen A, Yamada T, Takahashi N, Iseki K. Characterization of loxoprofen transport in Caco-2 cells: the involvement of a proton-dependent transport system in the intestinal transport of loxoprofen.

Biopharm Drug Dispos. doi: 10.1002/bdd.2026, 2016.

Yuki Tazawa, Akio Shigematsu, Kumiko Kasashi, Junichi Sugita, Tomoyuki Endo, Takeshi Kondo, Takanori Teshima, Ken Iseki, Mitsuru Sugawara and Yoh Takekuma
Pharmacokinetics and dose adjustment of etoposide administered in a medium-dose etoposide, cyclophosphamide and total body irradiation regimen before allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.

Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences (2016) 2:18

N. Ishiguro, R. Oyamada, Y. Nasuhara, T. Yamada, T. Miyamoto, S. Imai, K. Akizawa, T. Fukumoto, S. Iwasaki, H. Iijima, K. Ono.

Three-day regimen of oseltamivir for post-exposure prophylaxis of influenza in wards

J. Hosp. Infection (2016) 1-4. <http://dx.doi.org/10.1016/j.jhin.2016.05.012>

【和文原著・症例報告】

次世代に向けたハイブリッド型薬剤業務の構築

笠師久美子、深井敏隆、山田武宏、井関 健, *医療薬学* **42**, 1-6 (2016).

【その他著書】

—分担執筆—

西村あや子：個別化医療を目指した臨床薬物動態学 I（基礎編）「妊婦・授乳の薬物治療」（廣川書店、2016年3月）

久保田康生：病気と薬 2016 「移植片対宿主病南」（「薬局」2016年3月増刊号、南山堂）

【学会・講演会発表】

<全国学会・シンポジウム>

笠師久美子

東京 2020 に向けて薬剤師に求められること～長野 1998NOC アシスタントの経験から～, 日本薬学会第 136 年会 (横浜・2016 年 3 月)

石黒信久、小山田玲子、山田武宏、宮本剛典、岩崎澄央

: 医療機関における抗インフルエンザ薬の予防投与とアウトブレイク時の対策を考える

日本環境感染学会 (京都・2016 年 2 月)

小山田玲子、岩崎澄央、山田武宏、石黒信久

: 多剤耐性菌アウトブレイク対策 アウトブレイク対応の実際 多剤耐性アシネトバクター

日本環境感染学会 (京都・2016 年 2 月)

<全国学会・一般演題>

熊井 正貴、敦賀健吉、笠師久美子、山田武宏、井関健

オピオイド使用患者における眠気に対して安息香酸ナトリウムカフェインを使用した 4 症例

第 26 回日本医療薬学会年会 (2016 年 9 月、京都)

今井俊吾、山田武宏、笠師久美子、小林正紀、井関健

Decision tree model の医薬品副作用発現リスク因子解析への応用可能性に関する研究

第 19 回日本医薬品情報学会総会・学術大会 (東京、2016 年 6 月)

柴山良彦、小林正紀、井関 健

MicroRNA-124-5p suppresses the expression of low density lipoprotein receptor-related protein 1B, 第 89 回日本薬理学会年会 (横浜、2016 年 3 月)

<学会地方部会・研究会・その他発表>

西村あや子

: ビジュアル・アナログスケールを用いた「妊娠と薬相談外来」の評価

第19回北海道出生前診断研究会 (札幌・2016年11月)

今井俊吾、山田武宏、石黒信久、宮本剛典、鏡 圭介、富山直樹、新沼悠介、
長崎大亮、鈴木幸司、山神 彰、笠師久美子、小林正紀、井関 健
：予測性評価に基づいたバンコマイシンTDM解析ソフト変更の効果検証
第30回北海道TDM研究会 研究発表会（2016年11月、札幌） *優秀演題賞受賞

田澤佑基、鏡 圭介、渡辺祐子、久保田康生、原田幸子、小林正紀、山田武宏、
井関 健
：院内製剤インドメタシンスプレーの安定性の評価
第21回札幌病院薬剤師会会員発表会（2016年11月、札幌）

山田武宏：抗真菌薬ポリコナゾールのTDM実践と活用」
Hematology Pharmacistフォーラム（2016年9月、札幌）

志賀弘康：手術部における薬剤師の役割～北海道大学病院での業務を中心に～
第8回北海道手術医学研究会 教育講演（2016年6月、札幌）

熊井正貴
化学療法によるHBV再活性化予防の取り組み
第2回北海道ブロックがん専門薬剤師フォーラム（2016年6月・札幌）

久保田康生、深井敏隆、山田武宏、小林正紀、井関健
：院外処方箋へのがん化学療法プロトコール名掲載の取り組み
第63回北海道薬学大会（2016年5月、札幌）

今井俊吾、山田武宏、笠師久美子、小林正紀、井関 健
Decision tree modelの医薬品副作用発現リスク因子解析への応用可能性に関する研究
第 63 回北海道薬学大会（2016 年 5 月，札幌）

岩尾一生、武田清孝、熱海賢一、今井桂子、河合広樹、久保田康生、齊藤嘉津彦、
滝沢麻理、堤かおり、野木裕司、野田聖奈子、本郷文教、大江利治、竹内伸仁。
お薬手帳を用いた薬剤情報提供における有益事例の収集～平成 26 年度調査報告～（ポスター）
第 63 回北海道薬学大会（2016 年 5 月，札幌）

水谷一寿, 阿部孝行, 伊藤 拓, 高橋和也, 早坂敬明, 笠師久美子
NST 薬剤師への教育活動～薬剤師 NST セミナーアンケートより考察～
第 9 回日本静脈経腸栄養学会北海道支部例会 (札幌・2016 年 1 月)

山田武宏

抗 MRSA 薬が関与した相互作用事例

北海道 TDM 研究会 症例検討会 (札幌・2016 年 2 月)

【競争的獲得資金】

1 科研費 基盤 C (2 名)

- 1) 抗 MRSA 薬ダプトマイシンによる骨格筋毒性回避のための基盤研究」
(山田武宏; 平成 28 年度—30 年度: 課題番号 16K08901)
- 2) 「PD-ECGF を標的とした腫瘍イメージング: I-123 標識体の製造システムの開発」(西嶋剣一; 平成 26 年度—28 年度: 研究課題/領域番号 26461782)

2 科研費奨励研究 (5 名)

- 1) 非ステロイド性抗炎症薬によるシスプラチン誘発性腎障害の悪化機序明」
(齋藤佳敬; 課題番号 16H00487)
- 2) クロザピン誘発性流涎症の発現機序およびリスク因子解明を目的とした研究」(石川修平; 課題番号 16H00509)
- 3) 「薬剤感受性試験結果に基づく適切な抗 MRSA 薬選択による菌血症治療成績向上への試み」(鏡圭介; 課題番号 16H00572)
- 4) 多施設間での AUD と DOT による抗菌薬使用量調査
(富山直樹; 課題番号 16H00577)
- 5) 分子標的薬ダサチニブの適正使用推進を目指した血中濃度測定と遺伝子多型解析系の確立」(田澤佑基; 課題番号 16H00503)